

第1学年 日本語学級「ぶんをつくろう」（オンライン授業）

トピックのねらい	○「〇〇が～～した」という短い文づくりなどを楽しんでできる。
日本語の目標	○「〇〇が～～した」の文型を使って色々な文を作ることができる。 ○促音や濁音の読み方が分かりリズムよく読むことができる。
関連	教科・単元 国語科「ぶんをつくろう」「ねことねっこ」A くらし・行事 音楽科「BahayKubo(フィリピンの野菜の歌)」B
主な学習活動	① 「ねことねっこ」をリズムに合わせて音読し、「〇〇が～～した」の文を見つける。 ② フィリピンの「BahayKubo」の野菜の名前を音楽に合わせて楽しむ。 ③ ゲーム「だるまさんがころんだ」を通して楽しく文づくりをする。

④ 教材・教具：「BahayKubo」のPPT

授業展開

時間	学習活動	指導のポイント 支援「〇日本語 ◇教科 *バイカルチュラル視点」	関連
1	1 「ねことねっこ」の音読をし、「〇〇が～～した。」の文章を見つける。	○「ねことねっこ」の音読をする。 ねっこ、はらっぱ、とびこえ、ぱった、かけっこの意味を生活経験などから確認する。 ○いろいろな促音を見つけ、一人一人の促音の理解について個々の状況を把握し指導する。	A
	2 フィリピンの野菜の歌 「BahayKubo」の野菜の名まえを音楽に合わせて楽しむ。	*音楽で練習している「BahayKubo」の野菜の名前にも促音があることに気付かせる。 「ウポットにも小さい「つ」があるよ。」 「カラバッサは日本のかぼちゃのことだね。」 ◇リズムに乗って読む練習を通してことばの楽しさを感じさせるようにする。	B
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> いろいろな「〇〇が～～した」の文をつくろう。 </div>		
	3 「だるまさんがころんだ」のゲームを通して文づくりをする。	○「だるまさんがころんだ」の「～～した」を色々変えて文づくりをする。 ・だるまさんが、わらった。 ・だるまさんが、ラーメンを食べた。 ○「だるまさんが」の主語も変えて文づくりをする。 ・先生が、はみがきをした。 ・ドラえもんが、ダンスをした。 ・ライオンが、ころんだ。	A
4 学習をふりかえる。	・今日の学習が楽しかったかどうか問う。 ◇ふりかえりカードに記入するよう指示し、自己評価できるようにする。		



みんなで音楽の時間に覚えた BahayKubo(バハイクボ)というフィリピンの歌の中には、野菜の名前がたくさん出てきます。



ナスや
カボチャも
でてきます。



令和3年度 第1学年 日本語学級「ぶんをつくろう」ふりかえり

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">児童の様子</p>	<p>《日本語学級での様子》 【1時間目】 ○音読や文づくりの「だるまさんがころんだ」では、笑顔で楽しむ様子が見られた。 ○難しい言葉の確認では、幼稚園での経験などを交えて話しながら確認した。 ▲音読については、すらすら読める児童とそうでない児童の差がある。 ▲先行学習での音読は、促音と清音の読みわけが難しい児童がいる実態があった。</p> <p>《在籍学級での様子》 ○促音や濁音の音読に際して、積極的に挙手して音読しようとする様子が見られた。 ○学年での遊びの時間など「だるまさんがころんだ」のゲームに積極的に参加し、いろいろな動詞や形容詞を使って文章を作っていた。</p>	
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学習活動案・日本語支援について</p>	<p>1時間目</p>
<p>課題</p>		<p>▲促音など、思っていた以上に読めていない児童の音読をどう改善していくかが課題。 →一人ひとりの実態を把握し、家庭への協力を呼びかけ、また日本語学級でも音読練習を入れていく。</p>